

イメージをつかむ

● <sup>にほん</sup> <sup>そうしき</sup> 日本のお葬式

<sup>ひと</sup> <sup>し</sup> 人が死ぬことをやわらかい言い方で、「亡くなる」といいます。

<sup>な</sup> <sup>ひと</sup> <sup>ひとばん</sup> 亡くなった人のそばで一晩いることを「通夜」といいます。

「喪服」といわれる黒い着物か洋服を着ていきます。また、ふつ  
<sup>な</sup> <sup>ひと</sup> <sup>こうでん</sup> <sup>も</sup> <sup>こうでん</sup> <sup>かね</sup>  
う亡くなった人のために「香典」を持っていきます。香典にはお金  
<sup>も</sup>  
を持っていきます。

<sup>そうしき</sup>  
お葬式



<sup>しゃしん</sup> <sup>ぶっしょうしき</sup> <sup>ぶっしょう</sup> この写真は仏教式(仏教のスタイル)の「葬式」です。

<sup>ぶっしょうしき</sup> <sup>そうしき</sup> <sup>き</sup> <sup>しょうこう</sup>  
仏教式では、葬式に来た人は「焼香」をします。

写真) みんなの教材サイトより

<sup>たいけん</sup> <sup>こうどう</sup>  
体験(たいけん)・行動(こうどう)する

■活動 1 - 日本のお葬式について話しましょう

(1) 日本でお葬式に行ったことがありますか。

なくなった人は 近所の人ですか。

親せきですか。

仕事の友だちの関係ですか。

(2) どんな服を着て、なにを持っていきましたか。

それはどんなお葬式でしたか。

日本では

仏式がおおいです。キリスト教式も時々あります。

最近(さいきん)は家族(かぞく)だけのお葬式(そうしき)もあり、家族(かぞく)が挨拶(あいさつ)するだけのものもあります。

ここでは、だいたい仏式(ぶつしき)をしょうかいします。



体験(たいけん)・行動(こうどう)する

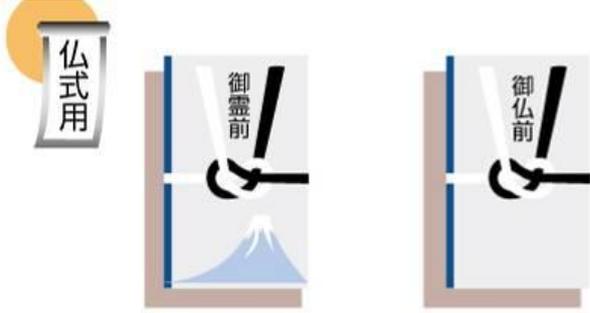
かつどう

こうでん

ようい

■活動2 - お香典を 用意しましょう。

(1) 香典袋 (不祝儀袋ともいいます)の書き方は宗教でちがいますが、  
おなじものもあります。

<p>ぶつき 仏式(スタイル)</p> 	<p>なくなってから 四十九(49)日までは ごれいぜん 「御霊前」 ご ごぶつぜん その後は「御仏前」 おこうでん そうぎ ほうじ 「御香典」は葬儀・法事どちらでもい ぶつきょう しゅるい い。(仏教の種類はたくさんありま かた す。やり方もちがいます。)</p>
<p>しんしき 神式</p> 	<p>おさかきりょう おくもつりょう 「御神料」・「御供物料」 おたまぐしりょう ごれいぜん 「御玉串料」・「御霊前」</p>
<p>きょう キリスト教式</p> 	<p>おはなりょう プロテスタント「御花料」 おん りょう カトリック「御ミサ料」 ごれいぜん 「御霊前」</p>

しゅうきょう とき  
宗教がわからない時は・・・

「ごれいぜん」



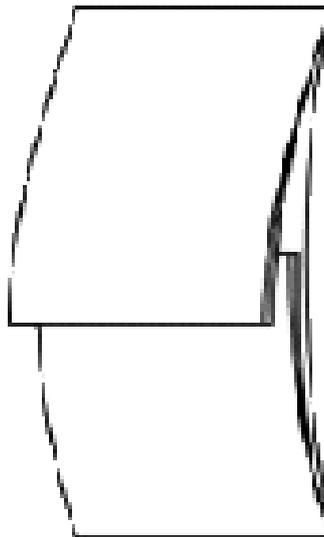
◆お金を入れた後に おり方を まちがえないようにしましょう。

### 『うしろから見た図』

なかづつみ かがみ ちゅうおう  
中包み(中にある、ふくろ) を紙の中央におき、

みぎ ひだり じゅん おり うわがわ  
右・左の順で折り、上側を

したがわ  
下側にかぶせる。



◆ けっこん  
結婚のときは、ぎやくです。

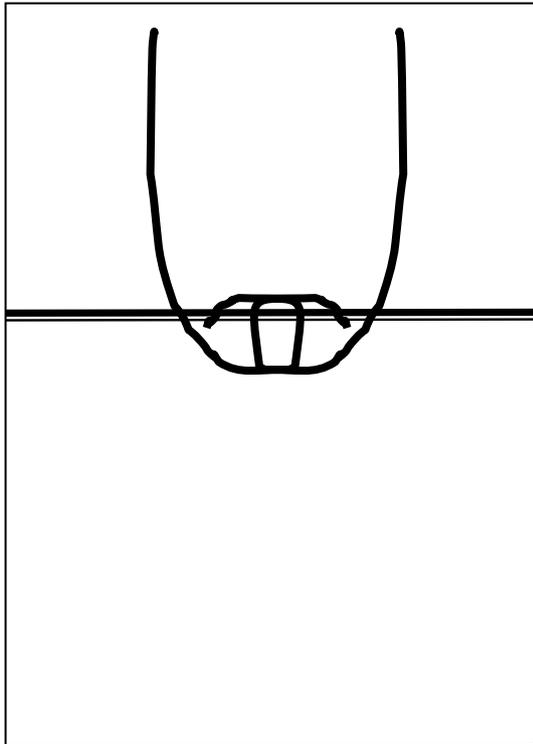
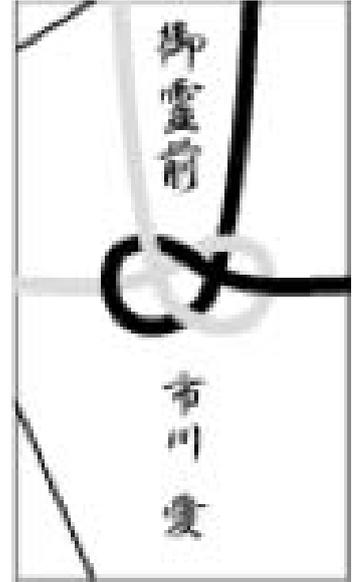
(2) いくらぐら<sup>い</sup>入れたらいいでしょう。例、著作権のため、書き換え必要

(3) 書いてみよう

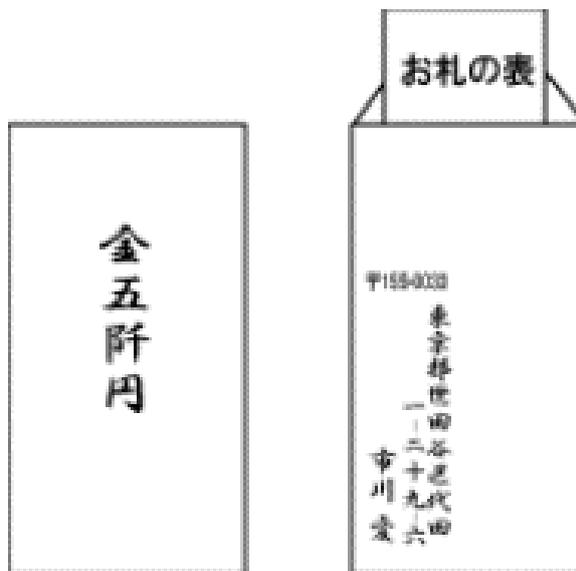
ふで  
筆ペンなどをつかって、ふくろの水引<sup>みずひき</sup>

から上<sup>うえ</sup>に、「御霊前<sup>ごれいぜん</sup>」と書きます。

した  
下になまえをフルネームで書きます<sup>か</sup>



なかぶくろ  
中袋には、かならず、住所・氏名・金額<sup>きんがく</sup>を書きましょう<sup>か</sup>。



■ **活動3** - なにを <sup>き</sup> 着ていきますか。

<sup>つ や</sup> **通夜**

<sup>きゅう</sup> 急 <sup>しごと かえ</sup> などのときもあります。仕事の帰りのときもあります。

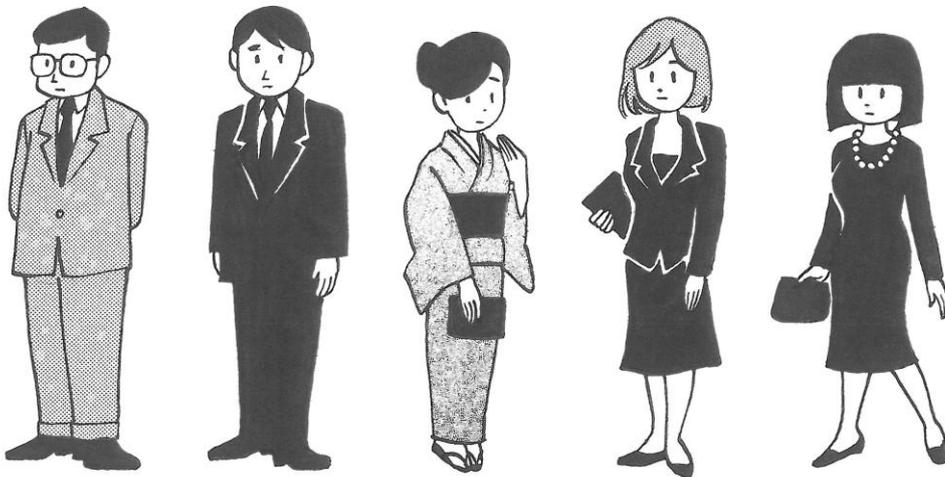
**マナー** ○ <sup>じみ</sup> 地味なもの <sup>なら</sup> ないです。

× <sup>ひか</sup> 光るアクセサリー、ネクタイピン、<sup>こいろ</sup> 濃い色のマニキュア

☆ <sup>ぶっしき</sup> 仏式のときは「数珠」<sup>じゆず</sup> をもっていきます。

<sup>そうしき</sup> 葬式 ( <sup>つ や</sup> 通夜 )

<sup>くろ</sup> 黒だけの衣服は「喪服」<sup>もふく</sup> といえます



ダークスーツ    ブラックスーツ    <sup>じみ いろ</sup> 地味な色の    <sup>くろ こんいろ</sup> 黒、紺色などの    ワンピース

<sup>むじ</sup> 無地のきもの    スーツ

**マナー** ○ <sup>しろ</sup> ワイシャツは白、<sup>くつした</sup> 靴下と<sup>くろ</sup> ストッキングは黒、<sup>くろ</sup> バッグも黒

× エナメルのくつ、

たいけん 体験 (たいけん)・こうどう 行動 (こうどう) する

かつどう 活動 4 - お葬式に参列します。

そうしき 葬式は、だいたい 2 か かん 日間で おこなわれます。

① お通夜 → ② 次の日 葬儀、告別式

① お通夜

なくなつた日の夜にすることが多いです。

次の日にすることもあります。

なくなつた人と親しかつた人や、親せきなどが集まります。

お坊さん(僧侶)が乗つてお経をあげたあと、集まつた人たちに簡単な食べ物と飲み物がでます。

マナー えんりよしないですたべますが早めにかえります。

② 葬儀・告別式

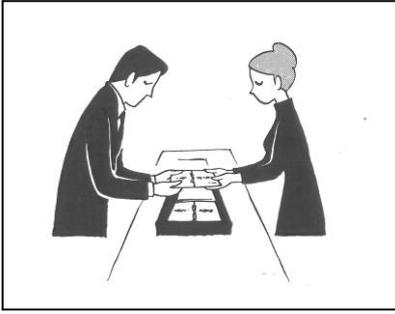
葬儀 ⇒ 仏教の場合は、まずお坊さんがお経を読みます。

なくなつた人が生きている人とお別れをします。

告別式 ⇒ 集まつた人たちがなくなつた人とお別れをする儀式です。

乗つた人は一人ずつお棺の前まで行つて、手を合わせ、「焼香」をします。

うけつけ きちょう  
受付で記帳



うけつけ  
受付のひと

- 1) 香典をわたします。
  - 2) 住所と名前を書きます。
- ⇒ (記帳)

しょうこう しかた  
お焼香の仕方

- ① 亡くなった人の家族と「僧侶」におじぎをしてから、  
「合掌」する。



- ② 「香」をつまんで、

ひたい め たか  
額(目)の高さにあげる。

- ③ 香を容器にいれる。

かい  
(3回することもある)

- ④ 合掌して、亡くなった人の写真を見て両手を合わせて祈る

すわって、するときは、となりへまわします。



- ⑤ 最後に 遺族におじぎをします。

■ かつどう 活動 5 - おそうしき 葬式でのかいわ 会話、あいさつをする。

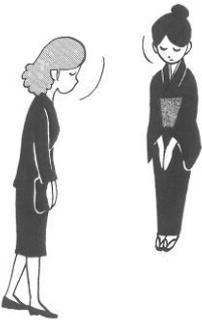
◎ いぞく あ 遺族に会ったら、きもち つた 気持ちを伝えて、

たいへん 大変ていねいなことばで あいさつします。

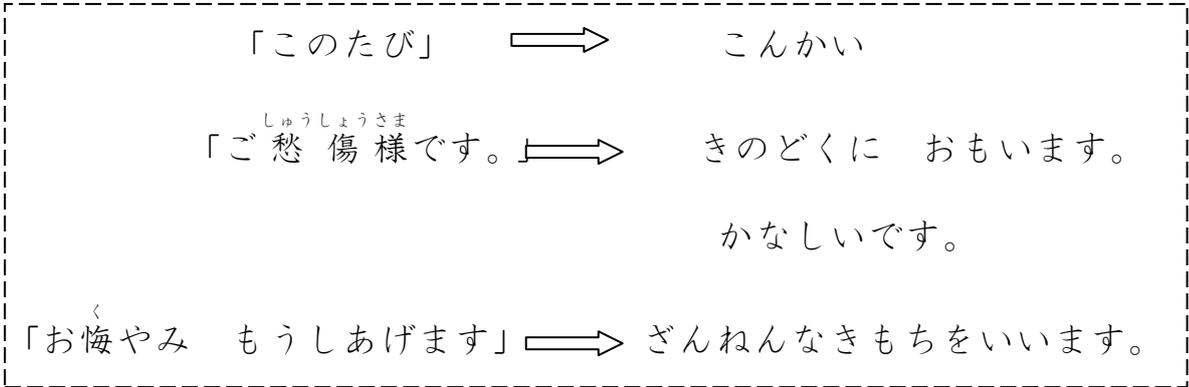
い 言ってみましょう。

「このたびはご<sup>しゅうしょうさま</sup>愁傷様です。」

「このたびは<sup>とつぜん</sup>突然のことで<sup>たいへん</sup>大変でしたね。」



「<sup>く</sup>こころからお悔やみ申し上げます。」



◎ うけつけ 受付では

しずかに おじぎする だけでも いいです。

ことば・表現 (ひょうげん) を知る (しる)

◆ <sup>ひょうげん</sup>ことば・表現 <sup>そうしき</sup>お葬式のことば

<sup>つや</sup>(お)通夜 <sup>wake</sup>・<sup>velorio</sup>[ポ]・<sup>lamay</sup>[タ]

<sup>な</sup>亡<sup>く</sup>な<sup>っ</sup>た<sup>日</sup>の<sup>夜</sup>に<sup>す</sup>る<sup>こ</sup>と<sup>が</sup>多<sup>い</sup>。

<sup>じゅん</sup>準備<sup>び</sup>が<sup>ま</sup>間<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>合<sup>わ</sup>な<sup>け</sup>れ<sup>ば</sup>、<sup>よく</sup>翌<sup>じつ</sup>日<sup>の</sup>夜<sup>よる</sup>。

<sup>そうぎ</sup>葬儀 <sup>こくべつしき</sup>告別式 <sup>funeral</sup>

<sup>な</sup>亡<sup>く</sup>な<sup>っ</sup>た<sup>人</sup>と<sup>お</sup>わ<sup>か</sup>れ<sup>を</sup>

する<sup>セ</sup>レ<sup>モ</sup>ニ<sup>ー</sup>。

\* [ポ]ポルトガル語 [タ]タガログ語

<sup>も</sup>喪<sup>ふ</sup>く <sup>も</sup>喪<sup>ふ</sup>く



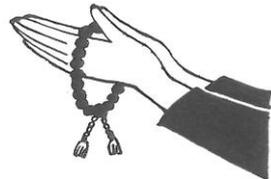
<sup>きちょう</sup>記帳 <sup>register</sup>



<sup>しょうこう</sup>焼香 <sup>burn incense</sup>



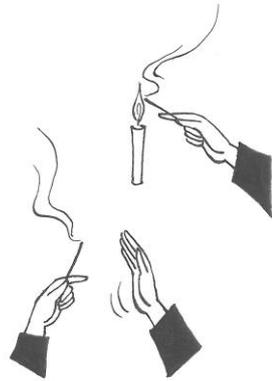
<sup>じゆず</sup>数珠 <sup>がっしょう</sup>合掌



<sup>ぶっしき</sup>仏<sup>しき</sup>式<sup>で</sup>、<sup>お</sup>い<sup>の</sup>り<sup>す</sup>る。

<sup>て</sup>手<sup>に</sup>も<sup>つ</sup>。

<sup>せんこう</sup>線香・ろうそく



かそうば  
**火葬場**  
crematory

ちょうでん  
**弔電**  
condolatory  
telegram

ちょうじ  
**弔辞**  
funeral  
address

いぞく  
**遺族**  
なまなくなった人  
ひと  
かぞく  
の家族

おかえし  
**お返し**  
return gift  
いぞく こうでん ほんぶん  
遺族から香典の半分ぐらい  
きんがく  
の金額のものをかえます。

きよめ  
**清めの塩**  
しお



sacred purification rites  
いえ かえ  
家に帰ったら、もらった塩しおをかける。

## 指導ノート

### 取り上げる生活上での事例

- 「身近に急なお葬式があるとき、あわてない」
- 「お香典をどのように用意するか」
- 「不祝儀での服装や会話のマナー」

### 教室活動の目標

- 「実際の場面で、活用できる香典や服装の用意を知る」
- 「お悔やみの決まり文句を知り、言える」
- 「日本の文化事情や慣習、語彙を知る」

### 教室活動のねらい

- 「日本人の家族や親族、近所、同僚のお葬式に出席する時、スムーズに行動できる」
- 「場面に応じた会話、動作ができる」
- 「日本文化やマナーを知る」
- 「決まり文句を知り、適切に発言できる」

### 活動前に確認しておくこと

- 「日本の儀式に出席する機会があったか」
- 「マナー、常識本、その地方、地域性を調べ、用意する」
- 「世界の宗教について、知っておく」

### 準備する素材

- 「不祝儀袋」（祝儀、その他の参考）
- 「レアリア」（数珠など）